

地域リハビリテーションケース会議 50回記念シンポジウム

誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり 期待される地域リハビリテーション活動とは？

日本リハビリテーション病院・施設協会 会長
埼玉県地域リハビリテーション推進協議会 会長
かすみケアグループ (医) (社福) 真正会 理事長
齊藤 正身



埼玉県

7,325,125人 (2023/3/1)

川越市

352,824人 (2023/3/1)



昭和47年11月26日

設立理念

老人にも明日がある

「医療の原点は福祉である」

「地域なくして医療は成り立たない」

Day Hospital

開設の理由・目的

1. 家庭で生活を続けながら、医療的管理が可能で、特にリハビリテーションによるADLの維持・向上を図ることができる。
2. 入院を回避できる（再入院防止）。
3. 家族の労苦の軽減ができる。
4. 社会的な接触の機会が得られる。

利用中の時期によって、重視する利用目的が変化することを十分理解すること！ → チームで取り組むこと！

老人にも明日がある



リハビリテーションを
「原動力」に！

かすみケアグループの概要

医療法人・社会福祉法人・一般社団法人

霞ヶ関在宅リハビリテーションセンター

- 通所リハビリ デイリビング
- 訪問医療
- 訪問看護ステーション スマイル
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所コール
- 訪問リハビリ
- 居宅介護支援事業所しんしあ

- 川越市地域包括支援センターかすみ

- ## アダーズあいな
- グループホーム

- ## 特別養護老人ホーム真寿園
- 介護老人福祉施設
 - 短期入所生活介護
 - デイサービスセンター真・寿
 - 居宅介護支援事業所 真寿園

- ## 園 (SONO)
- 小規模多機能
 - グループホーム

霞ヶ関南病院

- 入院（医療療養病棟、障害者施設等一般病棟、回復期リハビリテーション病棟）
- 外来
- 通所リハビリ デイホスピタル
- 健康増進施設 SKIPトレーニングセンター

- あいなクリニック（ヒフ科）
- スタジオA・B

川越市

狭山市

ふじみ野市

Hauskaa

- （介護予防）福祉用具貸与・特定（介護予防）福祉用具販売・住宅改修事業所
- 高齢者向け賃貸住宅運営

ケアセンターよしの

- デイサービスセンターよしの
- ホームヘルプサービスよしの
- 居宅介護支援事業所よしの
- 川越市地域包括支援センターよしの

ケアセンター小仙波

- デイサービスセンター小仙波
- 居宅介護支援事業所小仙波
- 川越市地域包括支援センター小仙波

ケアラウンジ南大塚

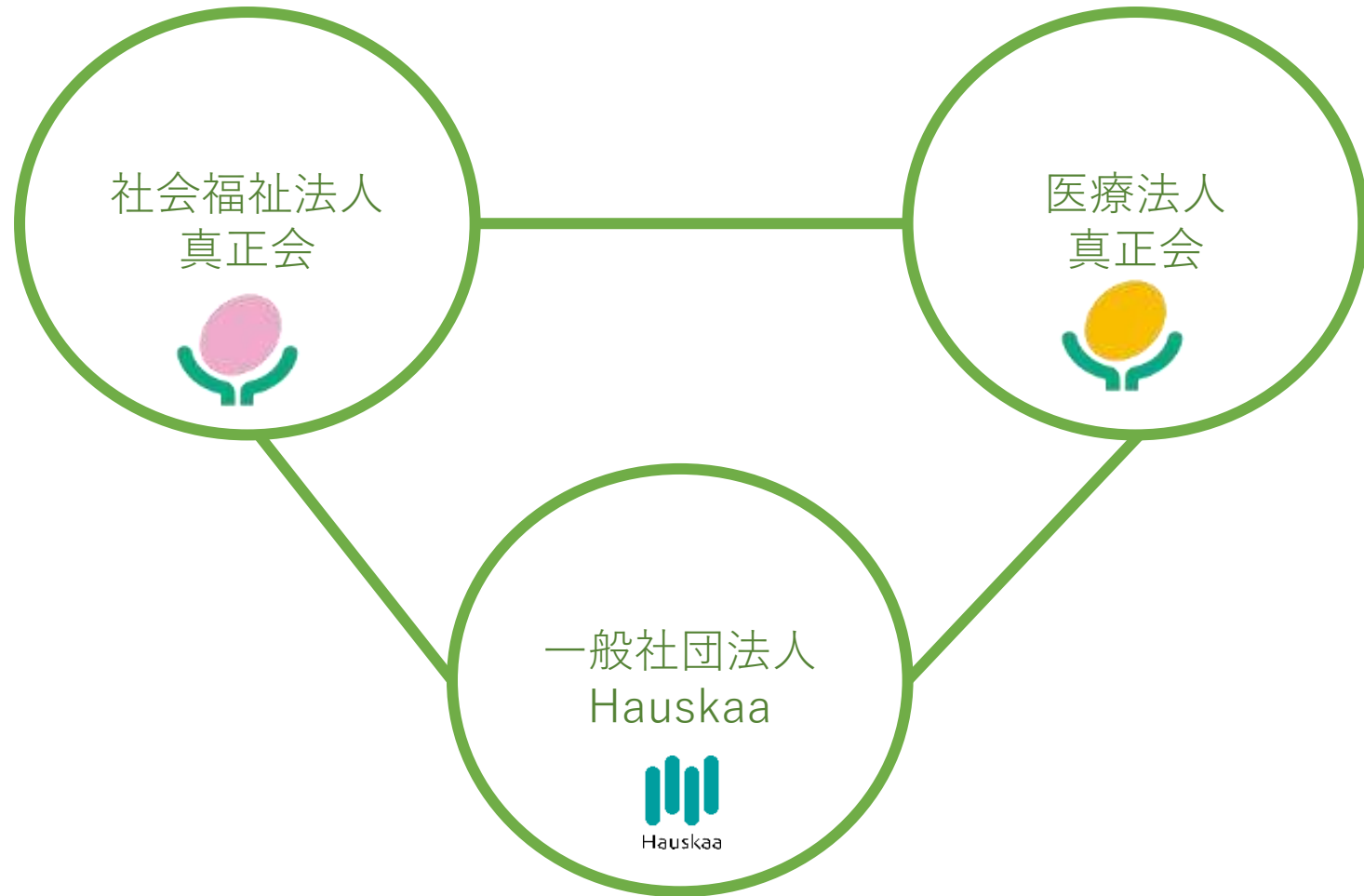
- 通所介護 ケアラウンジ南大塚
- 川越市地域包括支援センターだいとう

地域における私たちの役割

- ★ 医療保険と介護保険の橋渡し役
- ★ 施設・在宅サービスの適正な提供
- ★ 介護予防・健康増進事業

- ★ 新たな「地域」の創造

かすみケアグループの組織体制



住民主体

市町村のヤル気

都道府県の前向きな戦略

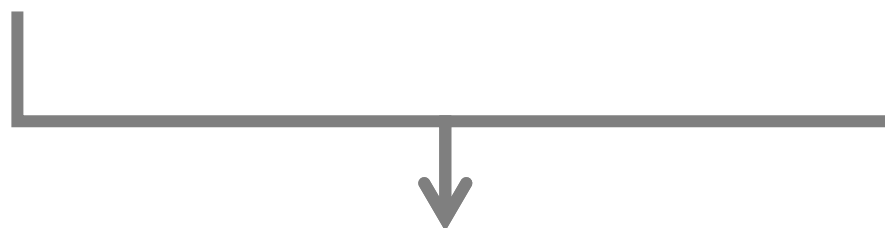
医療機関や関係団体の協働による支援

Informal service

- 啓蒙・教育活動
 - ボランティア活動
 - 地域プロデュース
- Community-based care

Formal service

- 社会保障制度上のサービス
 - 医療保険、介護保険 等
 - 地域連携パス
- Integrated(Inclusive) care



地域包括ケアシステム

地域包括ケアを支えるリハビリテーション

自助

自助力の向上・維持

リハ^{*}の成果は「自助力」の
向上・維持につながる

互助

インフォーマルサービスの
育成とサポート

住民の支えあい活動を
リハ^{*}の立場から促す

リハビリ
テーション

地域包括ケアを支える
リハ^{*}提供

急性期・回復期・生活期リハ^{*}により
自立生活を獲得・維持する

公の機関と積極的に協働

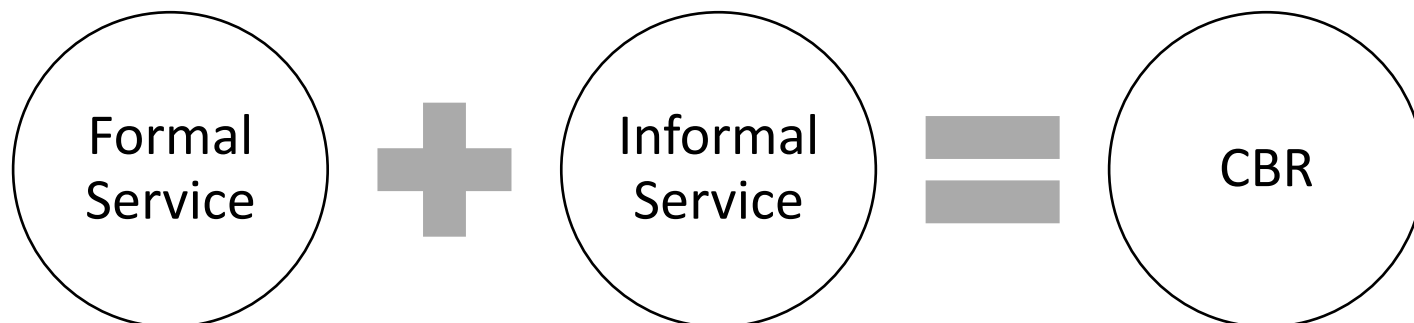
公共的なリハ^{*}施策が自立を
促すものとなるように関わる

共助

公助

※ リハ：リハビリテーションの略

地域リハビリテーション活動のポイント



ボランティア活動を経験して、
地域リハ活動の重要性を再認識した。

地域リハビリテーションとは？

地域リハビリテーションとは、障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合っ
て行なう活動のすべてを言う。

日本リハビリテーション病院・施設協会
2016

地域包括ケアシステムとは？

地域の実情に応じて

高齢者が、可能な限り、

住み慣れた地域でその有する能力に応じ

自立した生活を送ることができるよう、

医療、介護、介護予防、

住まい及び自立した日常生活の支援が

包括的に確保される体制

(地域医療介護総合確保促進法・社会保障制度改革プログラム法)

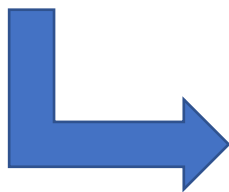
地域リハビリテーション

定義・推進課題・活動指針

2016 年版



日本リハビリテーション病院・施設協会



発行：1991

改定：2001・2016

地域リハビリテーション

定義

地域リハビリテーションとは、障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々や機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合っ
て行なう活動のすべてを言う。



推進課題

1. リハビリテーションサービスの整備と充実

- ① 介護予防、障害の発生・進行予防の推進
- ② 急性期・回復期・生活期リハビリテーションの質の向上と切れ目のない体制整備
- ③ ライフステージにそった適切な総合的リハビリテーションサービスの提供

2. 連携活動の強化とネットワークの構築

- ① 医療介護・施設間連携の強化
- ② 多職種協働体制の強化
- ③ 発症からの時期やライフステージにそった多領域を含むネットワークの構築

3. リハビリテーションの啓発と地域づくりの支援

- ① 市民や関係者へのリハビリテーションに関する啓発活動の推進
- ② 介護予防にかかわる諸活動を通した支えあいづくりの強化
- ③ 地域住民も含めた地域ぐるみの支援体制づくりの推進

推進課題

1. リハビリテーションサービスの整備と充実

- ① 介護予防、障害の発生・進行予防の推進
- ② 急性期・回復期・生活期リハビリテーションの質の向上と切れ目のない体制整備
- ③ ライフステージにそった適切な総合的リハビリテーションサービスの提供

2. 連携活動の強化とネットワークの構築

- ① 医療介護・施設間連携の強化
- ② 多職種協働体制の強化
- ③ 発症からの時期やライフステージにそった多領域を含むネットワークの構築

3. リハビリテーションの啓発と地域づくりの支援

- ① 市民や関係者へのリハビリテーションに関する啓発活動の推進
- ② 介護予防にかかわる諸活動を通した支えあいづくりの強化
- ③ 地域住民も含めた地域ぐるみの支援体制づくりの推進



●人生に必要な「3つの場所」

- 居場所
- 行き場所
- 座る場所

●相手のアセット（財産）を探す

年をとっても 病気にならなければいい

病気になっても 自宅で暮らせればいい

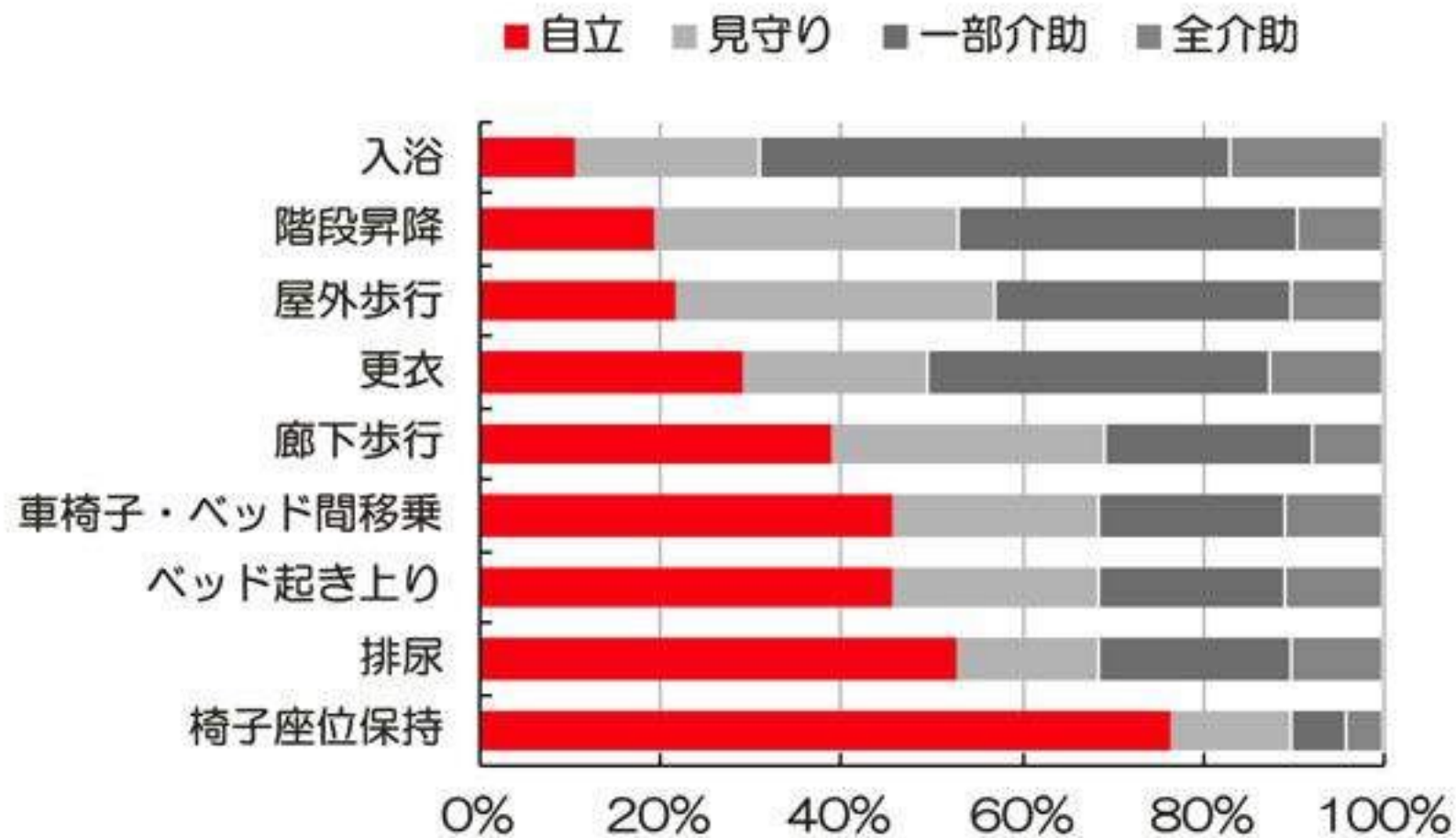
入院しても 短ければいい

長くなっても 世話にならずに楽しければいい

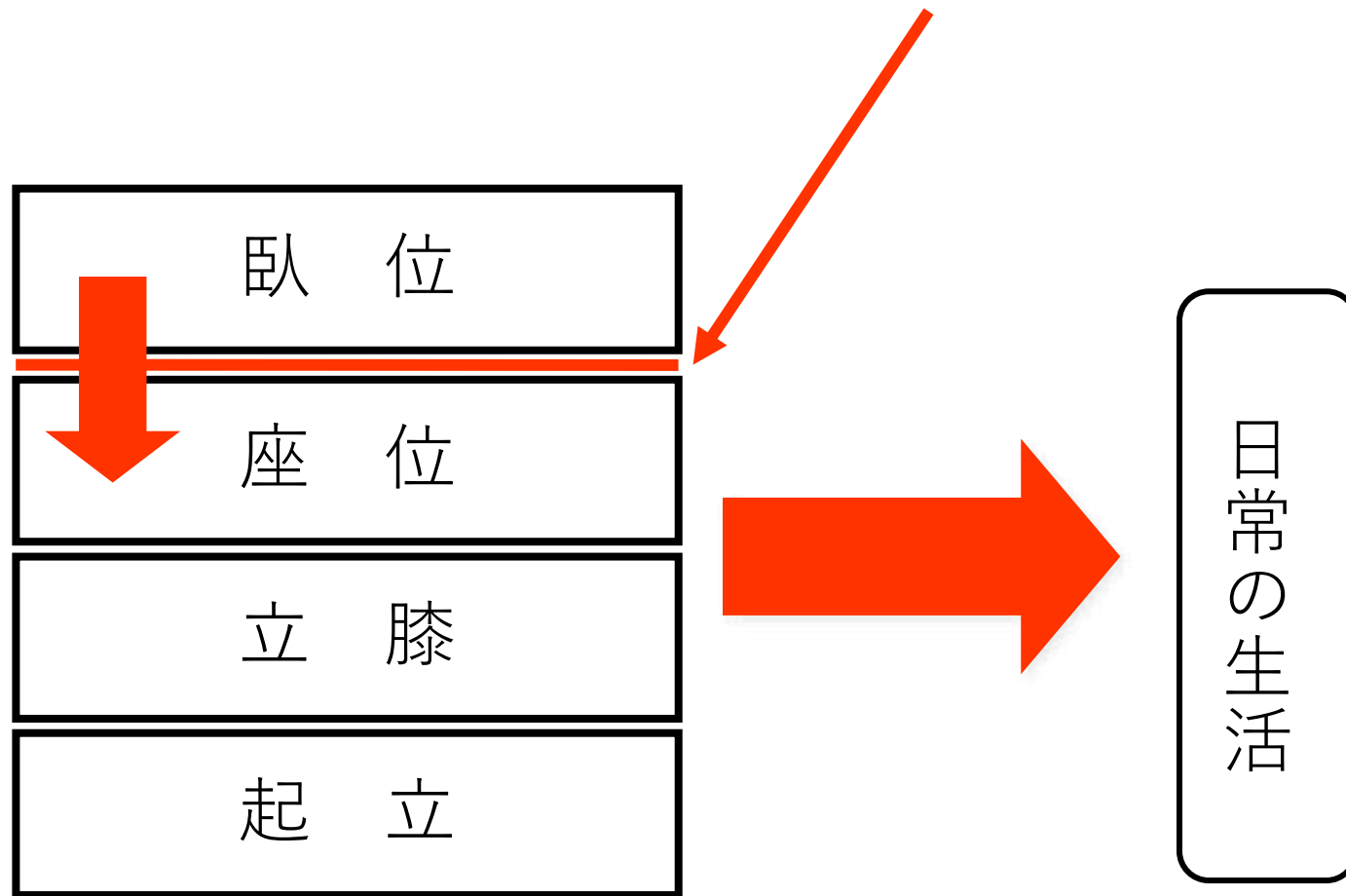
- 守るも攻めるもこの一線

通所リハ利用者の日常生活動作の状況

全国老人デイケア連絡協議会 通所リハ実態調査 (N = 7 8 1 3)



基本動作（守るも攻めるもこの一線）



「地域リハビリテーション原論Ver. 2」 大田仁史著 より

●人の幸せのかたちとは？

世の中にはさまざまな統計があり、
その中にはまやかしの統計もある。
しかし絶対に間違いのない統計が存在する。
それは「人間の死亡率は100%である。」
という統計である。

サマーセット・モーム

高 齢 者 ケ ア

高齢者ケアは広義のターミナルケアである。

ただし、目標は延命ではなく、

あくまでも自立におくべきである。

「天寿を全う」 「悔いのない人生」

⇒ 本人の本音？

- 人の幸せのかたちとは？ モリー先生との火曜日
- 目的のある人生をつくる力になる

Tuesdays with Morrie

Life with Purpose...

コミュニケーション ⇒ 手段、内容

死ぬ準備 ⇒ 生きること

見守ってくれる人 ⇒ 精神的な保護

大事な「火曜日」 ⇒ 目的意識

Tuesdays with Morrie

たとえ障害があっても、
再びその人らしく生き生きとした
生活ができるように!!

私たちは…



高齢者の病気の特徴

1. 一人で多くの病気を持っている
2. 個人差が大きい
3. 症状が非定型的である
4. 臓器の機能不全が潜在的にある
5. 慢性の疾患が多い
6. 薬に対する反応が成人と異なる
7. 生活防衛力が低下しており、治りにくい
8. 予後が社会的環境により大きく左右される

医師による取り組みだけでは・・・



⇒ 専門職によるチームアプローチ



医療だけによるアプローチでは・・・



⇒ 保健・医療・福祉・介護の連携



川越市が目指す地域包括ケアシステム（イメージ）

医療が必要になったら…
医療

- 病院・診療所
約200箇所
 - 歯科診療所
約180箇所
 - 薬局
約150箇所
- ※すこやかマップより

介護が必要になったら…
介護

- 居宅介護支援事業所
約80箇所
 - 介護サービス事業所
約330箇所
- ※ハートページより



※ 地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活的圏を単位として想定しています。

厚生労働省他提言「地域包括ケアシステムの構築について」を改題

コミュニティケアネットワークかわごえ

CCN かわごえ

(川越地域包括ケア推進協議会)



(事務局) 一般社団法人川越市医師会

コミュニティケアネットワークかわごえ

医療系

川越市医師会

川越市歯科医師会

川越市薬剤師会

理学療法士会

作業療法士会

言語聴覚士会

柔道整復師会

看護協会

歯科衛生士会

栄養士会

埼玉医科大学総合医療センター

鍼灸師会

計27団体



介護予防 在宅療養

目的

ネットワークの構築
同職種間・多（他）職種間の資質向上
地域ケア会議の推進

介護系

居宅介護支援

訪問看護

訪問入浴・訪問介護

通所リハビリ

通所介護
認知症対応型通所介護

訪問リハビリ

短期入所療養介護
短期入所生活介護

福祉用具貸与
福祉用具販売

介護老人福祉施設
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

介護老人保健施設
介護療養型医療施設

認知症対応型共同生活介護
小規模多機能型居宅介護
看護小規模多機能型居宅介護

特定施設入居者生活介護
地域密着型特定施設入居者生活介護

川越市社会福祉協議会

地域包括支援センター

川越商工会議所

川越市

川越市在宅医療拠点センター

(新) 埼玉県地域リハビリテーション 支援体制整備事業 再構築のきっかけ

- ・平成23年3月11日： 東日本大震災 発災
- ・平成23年3月15日： 原発事故によりさいたまスーパーアリーナへ避難
- ・平成23年3月22日： 県医師会長の要請により、ボランティア活動開始
- ・平成23年4月15日： 震災対応廃用予防ボランティアミーティング（250名）
- ・平成23年4月20日： 埼玉県（旧騎西高校）に避難された、福島県双葉郡双葉町に対し、
県の医師会、理学療法士会、作業療法士会および言語聴覚士会で、
4団体合同リハビリボランティア組織「CBR-Saitama Med.」を
結団し、廃用予防を目的としたボランティア活動を開始。

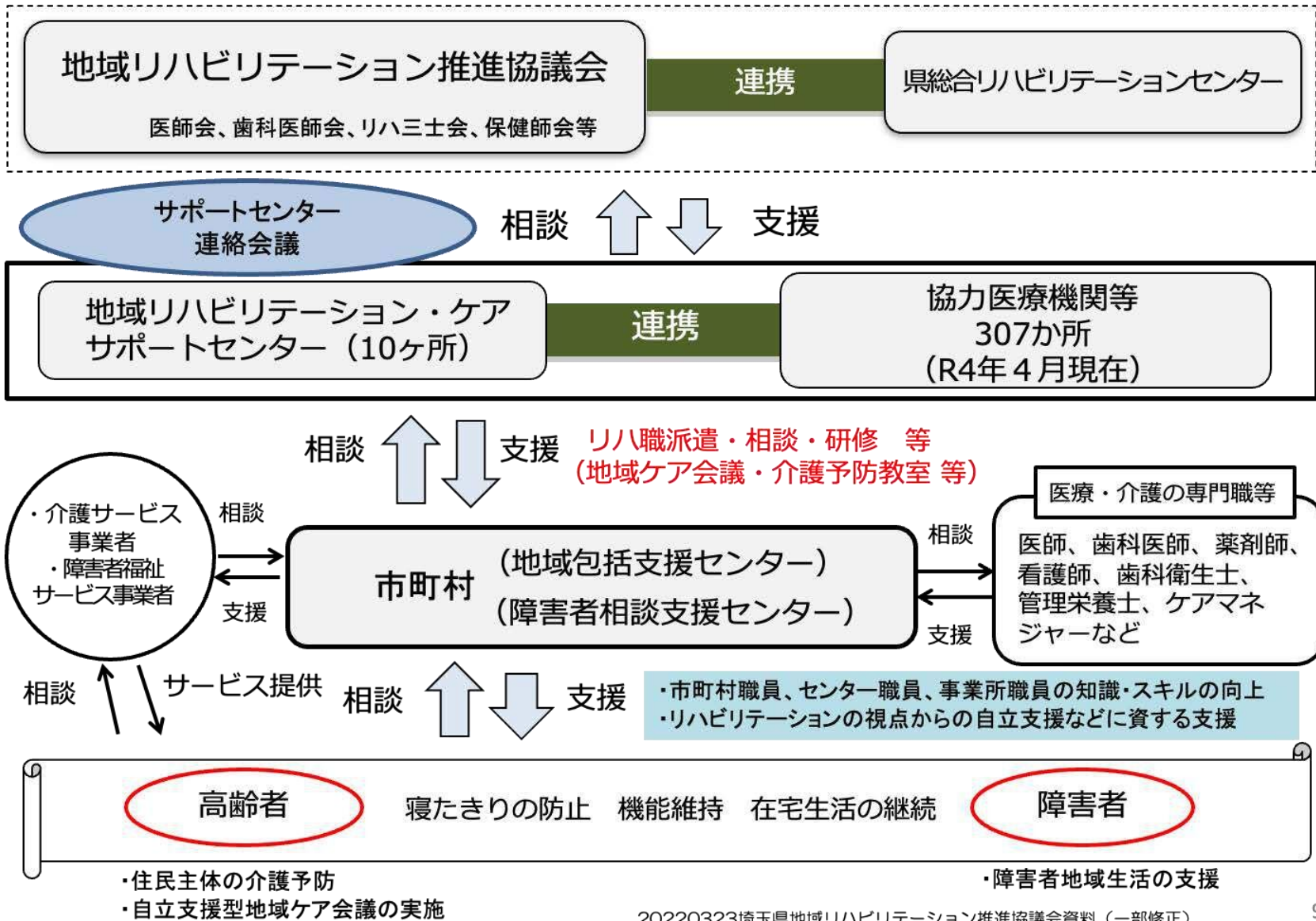
- ・平成25年2月： 県議会で質問「埼玉県のリハビリテーション体制を問う」



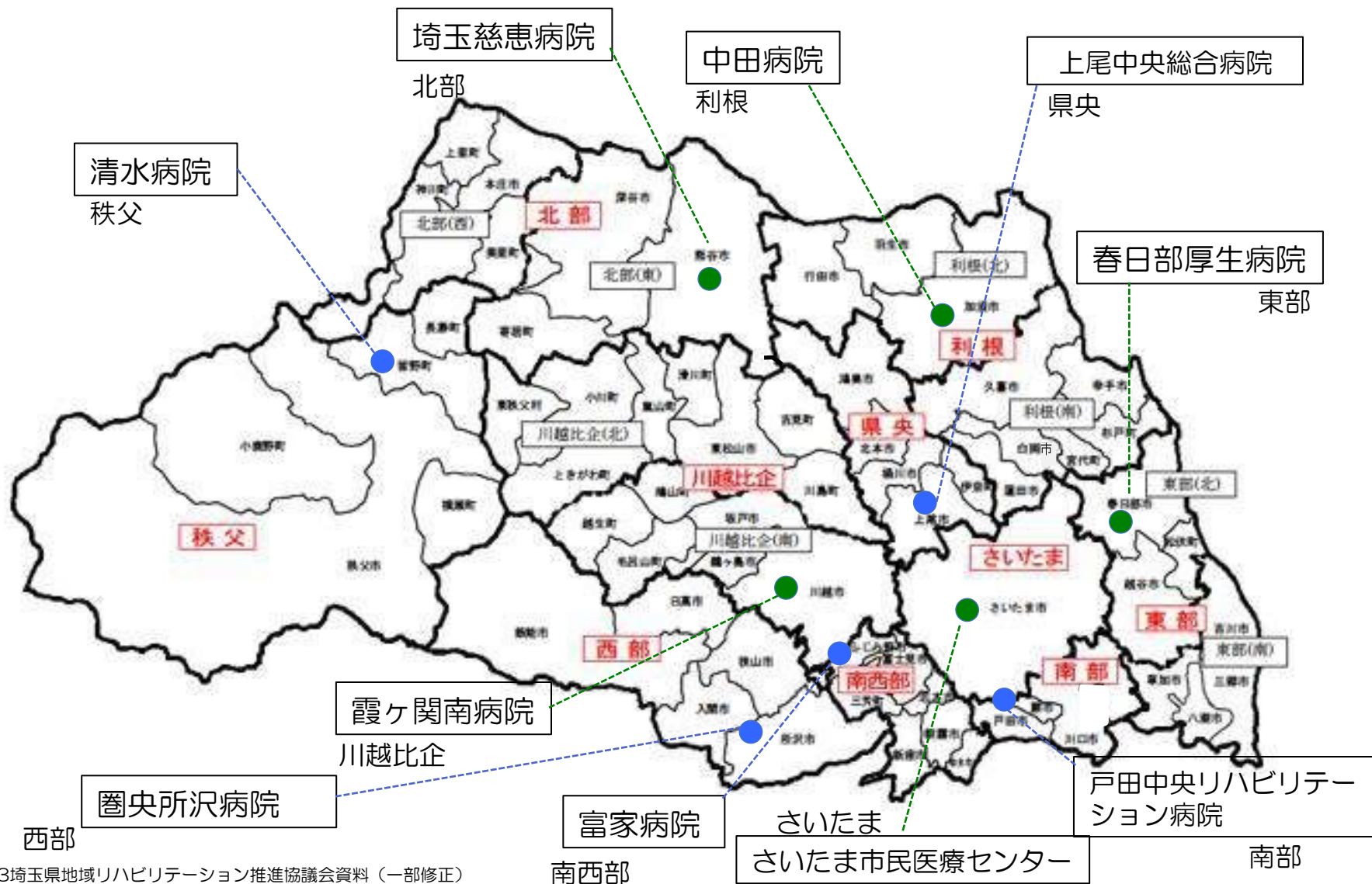
地域包括ケアの実現に向けた地域リハビリテーション支援体制の
相談が始まる。

リハビリテーション職を派遣するスキームと多団体での協力体制が原点に

埼玉県における地域リハビリテーション支援体制



地域リハビリテーション・ケア サポートセンター 地区割り



地域リハ推進事業：派遣件数の推移

地域リハ推進事業(市町村へ)の派遣件数は増加。

26年度：344件、27年度：1,218件、28年度：2,267件、29年度：3,546件、
30年度：3,962件、令和1年度：4,181件、令和2年度：1,580件

令和3年度：2,616件 57 / 63市町村に派遣

(出典：埼玉県地域リハ推進協議会報告資料より)



＊うち()内は総合事業

住民主体

市町村のヤル気

都道府県の前向きな戦略

医療機関や関係団体の協働による支援

**地域のために
社会のために
何ができるか…**